

地域とJAを結ぶ、心ふれあう情報誌



苗彦

3

2025

vol. 331 ふれあいだより

JA京都 **にのくに**

<https://ja-kyotoninokuni.or.jp>



ja_kyotoninokuni

公式LINEアカウント
「ふれ愛」



にのくにびと：田舎家そらしど 森嶋 麻衣さん

P 2. 総代の改選と選出枠について
組合員のメンバーシップを高める総代の役割

P 6. にのくにびと 田舎家そらしど 森嶋 麻衣さん





総代の改選と選出枠について

組合員のメンバーシップを高める総代の役割

JA京都にのくに現総代の任期が2025年3月31日に満了し、4月1日より新たに選ばれた新総代に就任いただくこととなります。

総代は、組合員の代表として、組合の最高意思決定機関である総代会を通じて組合員の意思を反映し、組合の運営や事業活動の方向性など重要事項を決定する役割を担っています。

新総代の選出については、多様な組合員ニーズをJA運営に反映させるため、女性部や青壮年部、各生産者部会などの組合員組織の活動支援と新たな組織育成など、組織基盤のさらなる拡充をめざし、「地域」「女性部」「青壮年部」「生産者部会」の選出枠から、多様な組合員の意思を反映する仕組みを構築しております。今回の改選に際し、男女共同参画の観点から、より多くの女性の総代選出に向けた変更を行いました。



運営参画に対する考え方

- より多様な意見の反映のため、地域からの総代選出に加えて、女性部や青壮年部、生産者部会から総代を選出しています。今回の総代改選では男女共同参画の観点から、より多くの女性の総代選出に向けた変更を行い、女性部枠を103名にまで拡大するとともに、生産者部会枠を50名から70名に拡大し、内枠として20名の女性生産者からの総代選出枠を新たに設けました。これにより総代全体に占める女性総代の割合が20%超となります。
- 地域農業の担い手として、盟友の拡大や組合員加入を促進し、広く盟友の意見を集約し、JA運営に反映させるため、総代に20人の「青壮年部枠」を設けています。
- 作物別の部会員の意思をJA運営に反映させるために、主要な特産品の生産者部会からの選出を基本として、70名の「生産者部会枠」を設けています。
- 「第3号組合員(准組合員)総代」を設置し、総代会などを通じて要望・意見を求め、JA運営のパートナーとして、農業協同組合運動への理解と事業運営への意思反映を図っています。

総代選出人数 611名

	選出人数		選出人数
地域選出	418名	青壮年部	20名
女性部	103名	生産者部会 (うち女性生産者)	70名 (20名)

総代選挙の実施について

下記により、総代選挙を実施致しますので、定款附属書総代選挙規程第4条により公告します。

選挙の期日 2025年3月23日(日)

投票開始時刻 午前8時

投票終了時刻 午後5時

投票所 綾部市選挙区……本店
福知山市選挙区…福知山支店
舞鶴市選挙区……舞鶴西支店

開票所 同上

選挙する総代の数 総数 611名

綾部市選挙区 222名

福知山市選挙区 181名

舞鶴市選挙区 208名

投票用紙に記載すべき選挙する総代の数

1名 (単記無記名投票)

[注]定款附属書総代選挙規程第18条の2により、それぞれの選挙区において、総代の候補者とその選挙において選挙する総代の数を超えないとき、若しくは超えなくなったときは、その選挙区の投票は行わないこととします。尚、この場合には各投票所に公告いたします。

第23回生産振興大会 — 高温に負けない農産物の生産 —



2月4日、綾部市中央公民館にて第23回生産振興大会を開催し、2025年度に当JAが取り組む農業振興方策などを出席者と共有しました。本大会では「農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化」を基本とした特産物の生産拡大や、多様で足腰の強い担い手・経営体の育成、JAの販売強化対策など、持続可能な農業の実現に向けてJAと生産者の意思統一を図りました。

大会には管内の生産者から、京都府や3市、JA京都中央会をはじめとした関係機関職員など約180人が出席しました。

大会ではJA京都中央会の今西 仲雄氏が「私が考える京都府農業の課題と展望〜若者に選ばれる魅力ある産業をめざして〜」と題し、農業が若者に選ばれる職業になるためには、農業者が意欲を持って持続的営農ができる環境が必要であり、さまざまな人との連携や協業を通じて農業者の確保や、発想・視点を変えた新たなブランド農産物の選定など多面的に京都府農業について講演いただきました。

村上宮農経済部長からは、当JAが2025年度に取り組む農業振興の基本方針である「2025年度JA京都へのくに地域農業振興方策」を説明し、特に昨年水稻栽培で猛威を振るった「イネカメムシ」に対する防除の徹底を呼びかけました。

管内3カ所にある広域営農経済センターごとの実践報告では3人の職員がそれぞれ、「万願寺甘とうの収量増大に向けて〜佐藤流解決策探し〜」「舞鶴広域営農経済センター…佐藤 正則」、「新規栽培者との関わり〜万願寺甘とう生産拡大を目指して〜」「福知山広域営農経済センター…日置 龍心、「若手農業者の新たな挑戦と農福連携〜紫すきんの産地復活を目指して〜」「綾部広域営農経済センター…真下 佳苗をテーマに実践報告をしました。

JA京都へのくにでは本大会で提起した「地域農業振興方策」を基軸に、広域営農経済センターや関係部門・機関と連携の下、さらなる地域農業の振興に皆さんとともに取り組んでまいります。



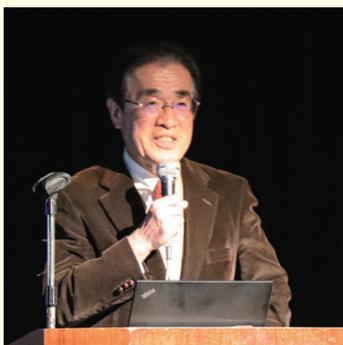
綾部広域営農経済センター
真下係長



福知山広域営農経済センター
日置担当



舞鶴広域営農経済センター
佐藤主任



記念講演いただいた
今西 仲雄氏



大会では、代表者による農産物品評会表彰式も行われました
農産物品評会入賞者はP5をご覧ください

当JAの 取り組み

が農林水産省のホームページに取り上げられました

「農業の発展に成果を出している農協の取組事例」として、当JAが取り組む「万願寺甘とうの販売促進活動」が紹介されました。ここではその内容の一部を再構成したものをご紹介します。

生産者とJAによる「販売企画プロジェクト」

1983年に命名され市場での販売が進められてきた「万願寺甘とう」は、2010年以降、市場取引中心の販売戦略による単価の低下が生産者の所得に影響を及ぼすという課題に直面していました。この課題に対応するため、2014年にJAと生産者が価格安定のための新たな販売方策を協議する「販売企画プロジェクト」を立ち上げ、生産者の意見や知見を取り入れた販売促進活動を強化することになりました。この活動強化に向けて、生産者が「販売促進費」を拠出し、JAの販売促進活動をサポートする体制が整えられ、下記のような多角的な活動に取り組んでいます。



多角的な販売促進活動

地元消費 の拡大

「あまとくらぶ」を創設し、地元の飲食店と連携した消費拡大・PR活動を展開しました。



新たな 販路の 開拓

大手チェーン店やコンビニとのコラボレーションを実現し、新たな販路を開拓しました。



プレミアム 商品開発

「プレミアム万願寺甘とう」を開発し、贈答用として高単価での取り引きを確立するとともに、生産者の意欲向上にもつなげました。

これらの取り組みや袋詰め強化による小売店との契約販売増加により、販売単価の向上と市場価格の安定に繋がりました。また、栽培技術を京都府等行政の協力も受けながら生産者が積極的に開発し生産者間で共有することで、品質の向上や単位収穫量も向上し、農業所得の向上につながっています。



今後も生産者と共に、新たな市場開拓とブランド価値向上を通じて農業所得の向上に取り組み、持続可能な農業経営を推進していきます。

詳しくは農林水産省HP(右の二次元コード)をご覧ください。

(下段にある「新着情報 農業の発展に成果を出している農協の取組事例」の「組合員と協力して取り組む販売促進体制強化(京都丹の国農協：京都府)」をご覧ください。



JA 京都にのくに農産物品評会入賞者 (敬称略)

万願寺甘とうの部

- 1位 (京都府知事賞)
松行 輝(三和支店管内)
- 2位 村上 隆(豊里支店管内)
- 3位 仲川 輝子(加佐支店管内)

紫ずきんの部

- 1位 (全農京都府本部運営委員長賞)
野崎 昭六(夜久野支店管内)
- 2位 山本 哲也(八田支店管内)
- 3位 山崎 松義(加佐支店管内)

小豆の部

- 1位 (JA 京都中央会長賞)
西野 俊之(綾部支店管内)
- 2位 土田 剛(豊里支店管内)
- 3位 藤田 義雄(福知山支店管内)

優良品種茶園の部

岡田 晃英(加佐支店管内)

中丹米振興協議会 中丹米コンテスト

京都府知事賞 川戸 進(夜久野支店管内)
 優秀賞 白猪 吉郎(上林支店管内)

■ 栗剪定講習会

講習会で大果多収を学ぶ

1月から2月にかけて栗の剪定講習会を各地で開催しました。1月22日には綾部市内の栗生産者圃場で剪定講習会を開催し、生産者や関係機関担当者ら14人が参加しました。講師は、府中丹広域振興局主催の「丹波くりマイスター養成講座」を修了したベテラン生産者が務め、参加者は、講師の説明を聞きながら、実際に剪定を体験。枝の角度や本数、芽の向きなど、一つひとつの作業を丁寧に確認しました。



確認しながら剪定を行いました

■ 酒米・京式部反省会

生産量拡大に向け、課題と対策を共有

中丹米振興協議会は1月23日、綾部市の日東精工アリーナにて、2024年度の酒米・京式部反省会を開催しました。当日は、生産者ら約50名が出席し、京都府中丹広域振興局やJA、全農京都などの関係機関担当者から、2024年度の栽培概要や販売状況などが報告されました。参加者からは、今後の栽培に向けた具体的な質問や意見が活発に出され、有意義な情報交換の場となりました。



次年度に向けて意見交換しました

■ 第26回丹の国茶香服大会

選手40名が 玉露5種のみの難題に挑戦!

JA 京都にのくに茶部会は2月15日、「第26回丹の国茶香服大会」を開催し、管内から40名の選手が参加しました。茶香服大会は玉露2種、煎茶3種で行われることが多いですが、丹の国茶香服大会では当JA管内の玉露5種で行われています。選手の皆さんは五感を研ぎ澄ませて大会に臨まれました。

主な結果は次の通り
 (敬称略)

団体の部

優勝：福知山チーム

個人の部

優勝：勝田 裕之(大江)



管内のお茶生産者が参加しました

■ 男性初心者料理教室

前菜作りとテーブルマナーで 大人の嗜みを学ぶ

2月1日、男性初心者料理教室「おじさまの腕まくり」が最終回を迎えました。最終回は前菜のテリーヌ作り挑戦しました。参加者の皆さんは、先生の説明を聞きながら、手際よく調理を進めました。料理の後は美味しい料理をさらに楽しむためのテーブルマナー講座。講師の小松先生から、基本的なマナーや食事の際の注意点などを丁寧に教えていただきました。学んだ後は、先生が作ったミニコース料理を味わいながら、実践形式でテーブルマナーを学びました。



ミニコースを楽しみました



「田舎家そらしど」の築100年、金属茅葺の古民家は、森嶋さんの祖父母が暮らしていた家だった。

田舎家そらしど 森嶋 麻衣さん

里山の原風景を受け継ぎ、 伝える場所として

綾部市最西部にある西坂町で祖父母から教えてもらった方法で育てた米や手作りのジャムを販売する森嶋麻衣さん。時代と共に失われつつある里山の原風景を守り、次の世代へと伝えたい。そんな思いを胸に、かつての暮らしの温もりを今に息づかせています。その拠点である築100年を超える古民家『田舎家そらしど』を訪ねました。

祖父母が守ってきた 場所を守るために

綾部市最西部にある西坂町。古くから農業を生業として発展してきた農村だ。この地で森嶋麻衣さんは、祖父から受け継いだ築100年の古民家を守りつつ、昔ながらの手法で育てた米と自家製のジャムやソースを販売する「田舎家そらしど」を営んでいる。きっかけは10年ほど前、高齢になった祖父の代わりに森嶋さんの母、荒木恭子さんが米作りを始めたことだった。代々耕し守ってきたこの土地を自分の代で途切れさせてはいけない、そう考えた母の姿を見て、大切な思い出が刻まれたこの場所を自分も守りたいという思いを強くしたと森嶋さんは振り返る。

「祖父の、『家族のために安全なものが必要な分だけ作ればいい』という

考えを受け継いで、農薬を使わない米と農薬の使用を減らした米の2種類を栽培しています」。農薬を使わない手法では、夏場のほとんどを除草作業に割く。その手間を惜しまずに育てた米だからこそ、自家用以外で残った分を販売するのは、ごく自然な流れだった。そして、米のほかに新たな看板商品をと、森嶋さんが始めたのがジャム作りだ。「家には祖父母が自分や家族のために植えていた梅、キウイ、柚、ブドウが季節ごとに実ります。この素材を活かしたいと思い、ジャムを作り始めました」と森嶋さん。さらに、畑で採れたイチゴや生姜、人参なども使っている。「家族のために食の安全に気を配るという祖父の思いに共感して不耕起栽培に挑戦しています。見た目に悪いものもできますが、この方法なら農薬を使わずに育てることができます」。自然の恵みを凝縮させた野菜と季節折々の果実の加工には、学生時代に管理栄養士の資格を取得する過程で学んだ知識が活かされている。現在では15種類ほど、季節ごとに品を変えて農産物直売所「彩菜館」などでも販売している。

古民家を拠点に 昔暮らしを 伝えていく

森嶋さんの一貫した思いは、祖父母が慈しんできた田畑から得ら



自宅用だけでなく贈答用にも人気のおかずソースとジャム。

れる恵みを大切に活かすこと。そして今、守っているこの場所の魅力を多くの人に伝えたいと願っている。そこで新たに始めたのが、土間にあるおくどさんを使い、昔ながらの調理を体験できる「おくどさん体験」だ。拠点である古民家には、長年のおくどさんの煙で黒く燻された梁とその名残を感じる壁、高い天井裏にはかつて茅葺きであった頃の面影が残っている。「この家の古き良き姿を感じてもらいたくて、祖母時代の生活のそのままだを残しています」。森嶋さんの思いはこの場所に流れる時間とともにある。美しい田園と100年の時を刻んできた家。そんな懐かしくも温かな風景は、訪れる人の心にもそっと温もりを宿すだろう。



バリアフリーのために一度は撤去したおくどさんも、10年前に復活させた。



「祖父母が大切にしてきたものがどんなに素敵か多くの人に知ってもらいたい」と森嶋さん。

田舎家そらしど

〒623-0364 京都府綾部市西坂町立貝74
TEL 0773-21-5915 <https://i-sorashido.com>



綾部市 大槻 郁代さん



舞鶴市 梅垣 好さん



舞鶴市 竹原 敏子さん



舞鶴市 田端 みつ子さん



福知山市 田村 莉子さん



福知山市 中島 範雄さん

Art Gallery



今月の一枚

上林支店で一枚。2月14日、支店窓口で「感謝デー」の飾り付けを行い、バレンタインの特別キャンペーンとして特殊詐欺防止の啓発活動を実施しました。

上林駐在所の村田巡查部長と綾部警察署にご協力いただき、防犯グッズもご提供くださいました。来店された皆さまには、チラシをお見せしながら詐欺被害防止の呼びかけを行いました。

女性部朝来支部の「ベラ・ノンナ」の皆さまは活発に活動されているのですね。「当て振り」は楽しそうですね。実際の活動を直接見てみたいです。

舞鶴市 ペンネーム 谷内 善明さん

野菜は彩菜館まで買いに行っています。やっぱりスーパーより新鮮ですし、花も安くうれしいです。特にシイタケが好物で、早く行かないと無い時があります。豊里にもお店ができたらいいなと願っています。

綾部市 足立多恵子さん

パートで働きながら、大きな畑の一角に季節野菜を植え伸び伸びと育てています♪青虫と分け合いながらの収穫のため、向こうが見える葉は当たり前!!虫食い無しの綺麗な野菜よりも、なぜか笑顔で料理ができる70歳直近の私です。

舞鶴市 ペンネーム 春の風さん

伝言板

今年はどうな野菜をどこで育てようか(連作のことを考えながら)頭をひねっています。どこに何を育てたか、なんとなく覚えてはいるのですが、今はスマホに撮って保存し、それを見ながら決めています。楽しみながら。

福知山市 平野恵さん

2月号表紙の「ベラ・ノンナ」の皆さん、とてもイキイキとできていて笑顔がステキ(私より若々しい……)打ち込めるものがあるっていいですね。スコップって意外と重いと思うので、すごいなと思いました。

舞鶴市 ペンネーム あら還 求職中さん



100号記念

Vol.100

営農経済部の野菜づくり教室

いつもご愛読いただき、誠にありがとうございます。
「野菜づくり教室」も2016年7月号の掲載開始から
今月で100号を迎えることができました！
100号を記念して、今回は過去の野菜づくり教室を
ぎゅぎゅっと凝縮してご紹介します！

人気野菜の栽培ヒント 過去の教室を振り返り！

根菜類

ニンジン	2017年 6月号	Vol.238
カブ	2017年 8月号	Vol.240
ジャガイモ	2019年 3月号	Vol.259
ゴボウ	2021年 10月号	Vol.290
ショウガ	2023年 7月号	Vol.311

葉菜類

キャベツ	2017年 7月号	Vol.239
白菜	2018年 9月号	Vol.253
タカナ・カツオ菜	2022年 7月号	Vol.299
ブロッコリー	2024年 8月号	Vol.324

豆類

エダマメ	2018年 6月号	Vol.250
インゲン	2019年 5月号	Vol.261
落花生	2023年 5月号	Vol.309

葉茎類

アスパラガス	2019年 4月号	Vol.260
ニンニク	2019年 8月号	Vol.264
ブロッコリー	2024年 8月号	Vol.324

果菜類

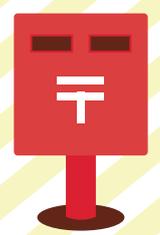
トウモロコシ	2017年 5月号	Vol.237
ナス	2018年 2月号	Vol.246
ゴーヤ	2019年 6月号	Vol.262
オクラ	2022年 6月号	Vol.298

ホームページも要チェック！
2017年以降の広報誌は
当JAホームページに掲載しております。
<https://ja-kyotoninokuni.or.jp/ymhk/>

ご注意ください 過去の記事に記載されている農薬や肥料の情報は、掲載当時の取り扱い状況に基づいています。
最新の情報をご確認の上、適切にご利用ください。

野菜に関する
疑問・質問
大募集！！

野菜づくり教室は、農業に関する様々な質問にお答えするコーナーとなりますので、ハガキやEメールでどしどしお寄せください。
皆さまからの声をお待ちしております。
〒623-0053 京都府綾部市宮代町前田 20 番地
JA京都にのくに 営農経済部 野菜づくり教室 係
einoukikaku@ja-kyotoninokuni.or.jp





2/4

女性大学 日本茶を学ぶ

茶業青年団を講師に迎え、抹茶の点て方と茶香服体験を行いました。日本茶の魅力について楽しく学びました。



お茶を点ててみよう!

自分で点てたお茶は格別。一旦落ち着かせ、お抹茶とお菓子を集中して味わいました。

「茶香服」を体験

5種類のお茶を飲み比べ、その茶種・茶銘を当てる競技、日本古来の遊び「茶香服」を体験してお茶の文化を学びました。

成績優秀者には賞品が贈られました。



2/17

第74回京都府女性大会・2024年度京都府家の光大会

京都テルサホールで、府内JA女性部員460名が集まり開催されました。大会では、新たな3か年活動計画として「食と農に関する活動の強化と地域の活性化」「女性部活動の充実による組織の活性化」「JA運営への参加・参画」が重点項目として決定。

また、活動体験発表表彰・京都米がすすむおかずレシピコンテスト表彰・家の光記事活用優良グループ表彰が行われたほか、各JAからの活動報告とステージ発表、60秒間スピーチが行われました。



ステージ発表：朝来支部

JA京都にのくに女性部 第29回 通常総会

日時 2025年4月17日(木)
午後1時～(受付：午後12時30分～)

場所 あやテラス・ホール(綾部市青野町西馬場下35-1)

内容 第1部：通常総会

第2部：体験発表・記念講演

2024年度活動体験発表：荒木 悦子さん(三和支部)
「おもしろ・おかしく70歳 今を生きる」
～人も地域もJAも巻き込んで～

記念講演：太鼓芸能集団「鼓童」名誉団員 藤本 容子氏
「唄に生かされ50年」



太鼓芸能集団「鼓童」名誉団員
藤本 容子 氏
photo：岡本 隆史

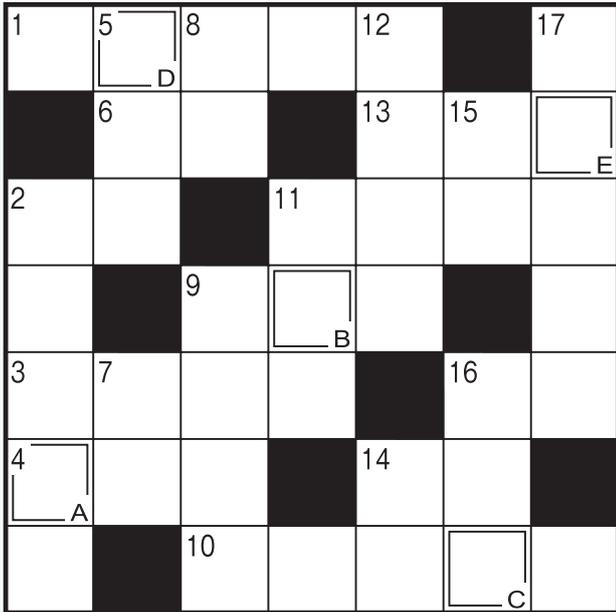
お問い合わせ先 JA京都にのくに企画調整室 女性部事務局 TEL：0773-42-5566

受付時間：土・日・祝除く
午前9時～午後5時

クロスワードパズル



締め切りは **3月19日(水)**
【当日消印有効】発表は4月号



解き方

タテ・ヨコを全部解き、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。



タテのカギ

- ② タイヤにつないでシュコシュコ
- ⑤ 柔道場に敷かれているもの
- ⑦ 新しいクラスで——紹介をした
- ⑧ ——は友を呼び
- ⑨ 茶道では表千家、裏千家など
- ⑪ 真新しい——を着て入社式に臨んだ
- ⑫ 漢字で書くと枸橘、枳殻。春に白い花を咲かせます
- ⑭ 海のパイナップルと呼ばれる海産物
- ⑮ 肥料の三要素は窒素、——酸、カリウム
- ⑯ パソコンの入力装置のひとつ
- ⑰ 4月のこと。——・フール

ヨコのカギ

- ① 富山湾でとれるものが有名な春の味覚。青く光ります
- ② 茶わんのセットや重箱を数えるときに使う言葉
- ③ 手品、マジックともいいます
- ④ 来週の火曜日——にもう一度来てください
- ⑥ 祝い事につきものの魚
- ⑨ 麻雀であがる前にかけることも
- ⑩ これが終わると新学期。入学式もあります
- ⑪ インクを付けて押します
- ⑬ テニスの試合で——の応酬が続いた
- ⑭ 鬼さんこちら、手の鳴る——へ
- ⑯ よく×(バツ)と対比されます

おたより募集

郵便はがきまたは、Eメールにクイズの答えを下記要領でご記入の上、ご応募ください。正解者の中から抽選で、10名様にのく商品券(1,000円)をプレゼントいたします。また、「伝言板」と「アートギャラリー」に掲載分ものくに商品券(500円)をプレゼントさせていただきます。

メールアドレス / ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp
Eメールで応募の際は**件名に「クロスワード応募」とご記入ください。**

6230053

京都府綾部市 宮代町前田20番地

JA京都にのくに

企画調整室 係

あなたの住所・氏名・年齢・郵便番号・電話番号

① クイズの答え
② おたより・イラスト
③ ご意見
④ その他

②～④については、各コーナーでご紹介する場合があります。



※お寄せいただいたハガキ・Eメールの個人情報につきましては、各コーナーの目的以外には使用しません。
※氏名の掲載を希望されない方は名前の横にペンネームをお書きください。



2月号の答え ウグイス

※クロスワードパズル
当選者の発表は
賞品の発送をもって
代えさせていただきます。

JA 京都にのくに 女性大学受講生募集

月1回 全11回講座予定

JA 京都にのくに女性大学では、2025年度入学の受講生を募集しています。何か趣味を見つきたい、自分の時間を有効に使いたい、そんな方にお勧めのカリキュラムを幅広い分野で構成。新しい仲間づくりを応援します。

- 期 間** 2025年5月～2026年3月
- 時 間** 各回：午前10時～12時ごろまで※1
- 対 象 者** JA 京都にのくにに管内在住の65歳までの女性組合員(または、組合員となっていただけの方)
- 会 場** JA 京都にのくに本店(綾部市宮代町前田20・スーパーマツモト前)※1
- 募集定員** 先着30名様※2
- 入 校 料** 3,500円/1年分※3・4

※1 講座により場所や時間が変更になります。※2 定員になり次第、締め切らせていただきます。※3 女性部会費 500円が別途必要です。※4 カリキュラムにより、別途材料費を頂戴します。無料講座もあります。

無料の託児所を開設いたします。
お気軽にご利用ください。



お申し込み

recette@ja-kyotoninokuni.or.jp
メールの件名に【女性大学申し込み】と書いて、下記必要事項を記載の上、お申し込みください。

必要事項

お名前(ふりがな)、生年月日、郵便番号、ご住所、電話番号、託児の有無



二次元コードからもメール作成いただけます

お問い合わせ先

JA 京都にのくに企画調整室女性大学事務局 TEL:0773-42-5566 FAX:0773-42-8606

1月末 事業取扱高

● 組合員数 20,043人	● 貯金残高 1,580億3,336万円	● 長期共済保有高 4,181億3,726万円
	● 貸出金残高 423億4,725万円	● 購買品供給高 8億6,343万円
	● 長期共済新契約高 147億7,831万円	● 販売品取扱高 16億8,606万円

理事会報告

協議事項

- ①次期3か年計画の重要課題(骨子)
- ②利益相反取引

報告事項

- ①月例報告
- ②2024年12月末事業実績の概況
- ③2025年度地域農業振興方策
- ④共済金の支払状況

- ⑤余裕金の運用状況
- ⑥余裕金運用にかかるリスク情報
- ⑦2024年度第4四半期の余裕金の運用方針・計画
- ⑧金融円滑化の対応状況
- ⑨大口信用供与先の状況
- ⑩コンプライアンス・プログラムの進捗状況
- ⑪相談苦情等の対応状況
- ⑫事務ミス等の発生状況
- ⑬事務指導による検証結果
- ⑭自主検査結果
- ⑮反社会的勢力等との取引排除にかかる対応状況
- ⑯疑わしい取引の届出状況
- ⑰ヘルプラインの受付対応状況報告
- ⑱SDGsクリーンウォークの実施
- ⑲2024年度遊休・不稼働資産管理状況
- ⑳人事異動の発令
- ㉑組合員の加入・脱退

組合員に加入して、農業と地域の発展を支えませんか？

JAは助け合いの精神に基づき、組合員の営農と生活を守り、より良い地域社会の実現を目指しています。あなたも組合員として、農業と地域の発展を支えてみませんか？

組合員になれば、JAの事業やサービスをよりお得にご利用いただけるだけでなく、農業の振興を通じて安全・安心な食料供給などにもご貢献いただけます。

詳しくは、お近くの支店までお問い合わせください。



年金友の会 2025年度 夢彦ドリーム倶楽部 年間行事予定

夢彦ドリーム倶楽部では、楽しいイベントを企画しています。ぜひご参加ください。

7月 JA京都にのくに夢彦ドリーム倶楽部 ゴルフコンペ

9月 JA京都にのくに夢彦ドリーム倶楽部 グラウンドゴルフ大会

 お誕生日には、「泉州産タオル【フェイスタオル&ハンドタオル】2枚セット」をプレゼント

会員特典 夢彦ドリーム倶楽部(年金友の会)の会員の皆さまには、新たに定期貯金お預け入れの際にはお得な金利でお預け入れいただけます。



あとがき

今月も「夢彦ふれあいだより」をお読みいただき、ありがとうございます。今号の「にのくにびと」では、「田舎家そらしど」の森嶋麻衣さんをご紹介します。取材で訪れた際、幼い頃に遊びに行った祖父母の家の記憶がふとよみがえり、どこか懐かしい気持ちになりました。それはきっと、森嶋さんが祖父母から受け継いだ大切な場所を、心を込めて守り続けているからこそなのだと感じました。(ヒロ)

おたよりをお待ちしています！

夢彦ふれあいだよりでは、読者の皆さまの声を多くご紹介したいと考えています。身近なエピソードや地域の話題、イラストや写真など、どしどしお寄せください。本誌に採用させていただいた方には農産物直売所「彩葉館」などをご利用できる「にのくに商品券」をプレゼントします。

〒623-0053 綾部市宮代町前田20 JA京都にのくに 企画調整室 Eメールでもどうぞ
ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp

※作品・写真は返却できません。おたよりは誌面に掲載する場合があります。
※作品・写真はInstagramで紹介させていただく場合があります。
※応募で記載された個人情報は「掲示板」への掲載、プレゼントの発送以外には利用いたしません。



働くあなたを応援します。

～給与振込キャンペーン～

2024年11月18日①～2025年3月31日②

プレゼントの対象となる方

- ① 期間中(2025年3月31日まで)にキャンペーンへご応募いただいた方
- ② 京都府内のJAにて新たに給与振込を指定し、2025年5月31日時点で給与振込(50,000円以上/月)が確認できた方

新規ご契約者様プレゼント



※定員に達した場合QUOカードPayになります



ご応募はこちらから!

ご紹介者様へのプレゼントも実施中!!
詳しくはこちらへどうぞ



※キャンペーン開始までの直近1年以内に、京都府内のJAで給与振込の取引実績がない方を対象とします。※給与振込のご指定には、お勤め先の所定のお手続きが必要です。※お勤め先のお振り込み状況によっては、システム上「給与振込」と認識されない場合があります。「給与振込」以外の種別のお振り込みでお受け取りの場合は対象外となります。予めお勤め先にご確認ください。※新規ご契約者様へのプレゼント進呈は、お一人様一回限りです。※他の給与振込キャンペーンと重複した場合、対象外となる場合がございます。※プレゼントをお渡しする前に給与振込の取り引きがなくなった場合、本キャンペーンの対象外とさせていただきます。

JA京都にのくに 限定企画

自動車共済 新規ご契約キャンペーン

ぜひこの機会に見積も!

2025年 第1期
1月6日(月)～3月31日(月)

2025年 第2期
4月1日(火)～6月30日(月)

キャンペーン期間 2025年
1月6日(月)→6月30日(月)

キャンペーン期間中、自動車共済のお見積をご依頼いただいた方に
もれなく「スコッティ カシミア キューブ」をおひとつプレゼント!!

さらに

期間中、自動車共済を
新規でご契約いただいた
合計60名様(各期30名)に
右記のカタログギフトが
抽選で当たります!!

やさしいごちそう「黄色いレモン」
(3,000円コース)

※当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※早期で失効・解約された場合、当選が無効となる場合があります。
※プレゼント対象品は数量が限定されていますので、変更となる場合があります。
※写真はすべてイメージです。

JA共済は、「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障で確かな安心をお届けします。

※ご提供いただいた個人情報は、JAおよびJA共済連の事業ならびに各種サービスのご提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、JA共済は「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護に努めております。

2026年度 職員募集のお知らせ

来春、大学・短大・専門学校等を卒業される方、社会人として経験のある誠実で活力ある人材を募集しています。

JAは一般企業と違い、組合員が出資し、協同活動によってお互いの利益を高めていくという、人と人とのつながりを大切にする組織です。地域の農業を振興し、地域社会に貢献するとともに、全国段階まで連合組織が整備された日本中に仲間の広がる団体でもあります。また、厚生年金、健康保険、退職金制度等、社会保障の制度も整備しています。

地元の農業と農家のために、やる気と熱意のある方の応募をお待ちしております。

募集対象 来春大学、短期大学、専門学校を卒業される方、及び、40歳(昭和60年4月2日以降に生まれた方)までの社会人経験者

募集人員 15名程度 **受付期間** 随時

応募書類 ①履歴書(学校所定またはJIS規格)
②各学校所定の書類
(卒業見込証明書、成績証明書)

一次試験 筆記、適性検査・作文(5月予定)

二次試験 面接
一次試験合格者に文書で通知します。

採否の決定 2025年6月1日以降に通知いたします。



詳しいことは、右記までお問い合わせください。

京都丹の国農業協同組合 企画管理部
〒623-0053 京都府綾部市宮代町前田 20

人事総務課

TEL 0773-42-2092

E-mail jinji@ja-kyotoninokuni.or.jp